

フジクローム Velvia プロフェッショナル [RVP]

FUJICHROME Velvia for Professionals

1. 特長及び用途

フジクローム Velvia プロフェッショナル[RVP]は、ISO50の写真感度をもつデーライトタイプの超高画質カラーリバーサルフィルムです。このフィルムは非常に優れた粒状性、解像力、鮮鋭度および卓越した鮮やかな色再現性をもっていますので、ファッション、商品、美術そして風景、自然科学などの幅広い分野に使用できます。特に精密な描写や色彩の強調が必要な場合に最適です。また、印刷や各種のプリント適性も十分考慮されているため、高級印刷や大型のポスター、プリントのオリジナルとしても最適です。

特長

- 超微粒子・高鮮鋭度・高解像力
従来のISO50クラスの水準をはるかに超えた粒状性/鮮鋭度/解像力のため、大伸ばしに最適
- 鮮やかな色再現、深みのある色調描写
フジクロームフィルム中、最高の彩度で、肌色もいきいきと描写
優れた色調描写力で深みのある色彩も再現
- ニュートラルなグレーと優れたディープシャドウ描写
ハイライトからシャドウまで良好なニュートラルグレーを再現
最高濃度が従来以上に高いため、深いシャドウと優れた黒を描写
- 優れた増感処理適性
+1絞り (ISO100相当) まで増感によるカラーバランス変化が少なく、露出の過不足を現像により調整可能

2. 写真感度

光源	写真感度	使用フィルター
デーライト	ISO50	不要
タングステン電球 (3200K)	ISO16*	LBB-12** (No.80A***)

- * 指定フィルターを使用した時の実効感度を示しています。
- ** 富士色温度変換フィルター
- *** ラッテンフィルター
- シートフィルムについては、小箱ごとに写真感度と色補正フィルター値が捺印されています。それを参考に使用してください。

3. フィルムのサイズ、製造番号(乳剤番号)、ベース材質及び厚さ

サイズ		製造番号
ロール	135…… 24枚撮り …… 36枚撮り …… 36枚撮り (5本パック) …… 36枚撮り (20本パック)	#501～
	35mm × 30.5m (長巻品)*	
	120…… 12枚撮り …… 12枚撮り (5本パック) …… 12枚撮り (20本パック)	
220…… 24枚撮り (5本パック)		
シート	4 × 5 (10.2 × 12.7cm) 10枚入り, 50枚入り	
	5 × 7 (12.7 × 17.8cm) 20枚入り	
	8 × 10 (20.3 × 25.4cm) 10枚入り	
	11 × 14 (27.9 × 35.6cm) 10枚入り*	
	クイックロード (4 × 5) 20枚入り クイックチェンジ (4 × 5) 8枚入り	

* 特注品
ベース材質…… セルローストリアセテート

ベース厚さ……

}	ロール 135 : 127 μm
	120 : 98 μm
	220 : 98 μm
シート : 205 μm	

4. 露光ガイド及び各光源での撮影方法

露光の決定には露出計の使用をお勧めします。露出計を使用しない場合は次表を参考にしてください。

昼間・屋外

	快晴時の海・山・雪景色	快晴	晴	明るい曇	曇・日陰
絞り	f/16	f/11	f/8	f/5.6	f/4

(シャッタースピード 1/125 秒)

- 注 ・上の表は日の出2時間後から日没2時間前までに適用されます。
- ・上の表に対し夏季は1/2絞りこみ、冬季は1/2絞り開けます。
- ・極端に明るい(または暗い)被写体、または逆光の撮影では上の表に対し、約1絞りの調整を必要とする場合があります。

デーライト (昼光)

このフィルムはデーライトタイプとして設計されているため、昼光下での一般的な被写体の撮影にはフィルターは特に必要ありません。次のような状況下での撮影には以下に示すフィルターの使用をお勧めします。

被写体の状況	フィルター	露光量補正 (絞り)
晴天時の日陰、日陰の多い風景	UVフィルター 富士 SC-40 または SC-41 (ラッテン No.2C または No.2B)	不 要
快晴の遠景、雪景色、海浜、航空写真など、広範囲な風景		
植物の近接撮影および明るい色の被写体 (陶磁器など)		

色温度が高・低いずれかに偏っている場合は下表を参考にして補正してください。

被写体の状況	フィルター	露光量補正 (絞り)
色温度が高い場合： 曇り日の風景・人物、 快晴の日の日陰	LBA-2* (ラッテン No.81A)	+ 1/3
色温度が低い場合： 朝、夕の太陽に照らされた風景・人物	LBB-2* または LBB-4* (ラッテン No.82A または No.82C)	+ 1/3 ~ + 2/3

* 富士色温度変換フィルター

** +は「絞りを開ける」

ストロボ

- ストロボは昼光にちかいたため、フィルターは不要です。しかし、ストロボの種類や使用量などの要因によってはカラーバランスに影響する可能性がありますので、テスト撮影を行ってください。
- フラッシュメーターの使用をお勧めしますが、下記の式により、適切な絞りを算出できます。

$$\text{絞り} = \frac{\text{ISO50の時のストロボのガイドナンバー}}{\text{ストロボから被写体までの距離 (m)}}$$

- オートストロボを使用する場合は、フィルム写真感度をISO50にセットして使用してください。ストロボ撮影の場合は、被写体の周囲の反射などによって露光量が変わることがあるため、使用するストロボの使用説明書に従ってください。

昼光色写真電球・フォトリフレクターランプ

- 昼光色写真電球やフォトリフレクターランプの光量は、露出計で得られた条件よりも低めのため、露光時間を延ばしたり、絞りを開けて補正することをお勧めします。できる限り、テスト撮影を行ってください。

- ランプの種類、使用時間、点灯電圧によって光量やカラーバランスが変化するため、それらを考慮して露光条件を決定してください。

蛍光灯

- 蛍光灯を主光源とする場合、下表を参考にカラーバランス、露光量を補正して撮影してください。
- 蛍光灯はメーカーや総点灯時間によって、光量、カラーバランスが異なるため、厳密な仕上がりを望むときは、あらかじめテスト撮影により確認してください。

蛍光灯の種類	白色型 (W)	昼光色型 (D)	三波長型 昼光色 (EX-D)	三波長型 昼白色 (EX-N)
色補正フィルター*	40M + 5R	40R + 20M	40R + 10M	30M + 20R
露光量補正 (絞り)**	+ 1 1/3	+ 1 2/3	+ 1 1/3	+ 1 1/2

(シャッタースピード 1/4 秒)

* 富士撮影用色補正フィルターCCシリーズ(ラッテンCCフィルター)

** 露光量の補正には色補正フィルターの露光倍数が含まれています。フィルターなしの状態での露出計指示値に対して、この表の補正をしてください。+は「絞りを開ける」

注 シャッタースピードは1/30秒より長い低速で使用してください。

シャッタースピードが4秒以上の場合には相反則不軌の補正も加えてください。

タングステン電球

- 3200K タングステン電球を使用する場合、富士フィルターLBB-12 (ラッテンフィルター No.80A) で、1 2/3 絞り開けて撮影してください。
- 室内照明などの家庭用タングステンランプを主光源とする場合は上記フィルターの他に、さらに富士フィルターLBB-2 (ラッテンフィルター No.82A) が必要になります。この場合は2絞り開けて撮影してください。

ミックス光

ミックス光の場合は、主体になっている光源にあわせてフィルター補正をしてください。なお、TTL 測光のカメラの場合は、各光源を補正するために使用するフィルターの露光量補正は不要です。

5. 長時間露光時の露光補正

露光時間 1/4000 ~ 1 秒の範囲では補正の必要はありませんが、4 秒以上の長時間露光では相反則不軌の影響が表れてきます。その場合、次表のように色補正フィルターによるカラーバランス補正と絞りによる露光量補正が必要です。

露光時間(秒)	1/4000~1	4	8	16	32	64
色補正フィルター	不要	5M	7.5M	10M	12.5M	お勧め できません
露光量補正(絞り)*		+1/3	+1/2	+2/3	+1	

* 露光量の補正には色補正フィルターの露光倍数が含まれています。フィルターなしの状態での露出計指示に対して、この表の補正をしてください。+は「絞りを開ける」

6. 撮影上の注意事項

ストロボ、フトリフレクターランプ、蛍光灯、タングステン電球、水銀灯などの人工光源はメーカー、総点灯時間、点灯電圧によって、光量、色温度が変化する場合があります。また、リフレクターやディフューザーも光強度、色温度に影響する場合があります。

7. フィルムの取り扱い

- フィルムの外箱に記載の有効期限内に撮影・現像処理を必ず完了してください。
- ロールフィルムのカメラへの装填・取り出しは直射日光を避けて、すばやく行ってください。
- シートフィルムの取り扱いは必ず全暗黒下で行い、乳剤面に触れないように注意してください。
- フィルムをカメラに装填したら、できるだけ短期間に撮影を完了し、速やかに現像処理をしてください。
- 空港の手荷物検査、及び預け入れ荷物検査時に使用されるX線はフィルムをカプらせる場合があります。露光済/未露光にかかわらず、フィルムは預け入れ荷物の中に入れずに、機内持ち込み手荷物に入れ、検査時は取り出して手検査を受けてください。
- 病院、工場、研究室などの放射線を取り扱う場所では、フィルムがカプるおそれがあります。フィルムは放射線源から離して保存してください。

8. フィルムの保存

現像処理前

未露光、露光済を問わず現像処理前のフィルムは温度・湿度が高いほど写真感度、カラーバランス、物理的特性などに悪影響を受けます。フィルムは次のような条件で保存してください。

- 通常又は短期保存：温度 15℃以下（冷蔵庫）
- 長期保存：温度 0℃以下（冷凍庫）

- 新材や新しい家具、ペンキ、接着剤などからフィルムに悪影響を及ぼすガスが発生することがあります。フィルム、フィルムを入れた遮光ボックス、フィルム

を装填したカメラやフィルムホルダーはこのような物の近くに保存しないでください。

- 低温下で保存されたフィルムを使用するときは室温に戻して（冷蔵は3時間以上、冷凍は6時間以上待って）から開封してください。また、長尺品（100ft）は、さらに時間をおく必要があります。温度が低いうちに開封すると、結露して使えなくなることがあります。

現像処理後

光及び高温、高湿は処理後のフィルムを変退色させる原因になります。従って、処理後のフィルムはマウントしたり、スリーブに入れて、通気性の良い乾燥した冷暗所に、次のような条件で保存してください。

- 短期の保存：温度 25℃以下、相対湿度 30～60%
- 長期の保存：温度 10℃以下、相対湿度 30～50%

注 このカラーフィルムの色素は他の色素と同様に年月の経過により変化します。

9. 現像処理

フジCR-56処理で現像処理してください。Kodak E-6処理でも処理できます。

10. 観察光源

標準のスライドビューアーを使用してください。光源の光質や明るさにより見え方が異なるのでISO*規格に合った光源を使用してください。

* ISO規格 (ISO/DP3664-2) では、ビューアー表面で基準光の色度CIEイルミナントD₅₀ (D: Daylight) 相関色温度5000K、平均輝度1400cd/m²±300cd/m²、輝度の均一性75%以上、光の拡散性90%以上、平均演色評価数Ra90以上と定められています。トランスパレンシービューアーはこれらの値を満たしていません。

11. プリント/デュープ

このフィルムから、フジクロームペーパーにダイレクトにプリントができます。また、フジカラーインターネガティブフィルムにプリントすることにより、各種ディスプレイや業務用など、幅広い用途に利用できます。更に、フジクロームデュープリケータリングフィルムCDU IIで高画質のデュープが作成できます。

12. レタッチ/ブリーチ

フィルムのレタッチ・ブリーチは、市販のレタッチングダイやブリーチ薬品にて、濃度やカラーバランスが変更できます。

13. シートフィルムのコードノッチ

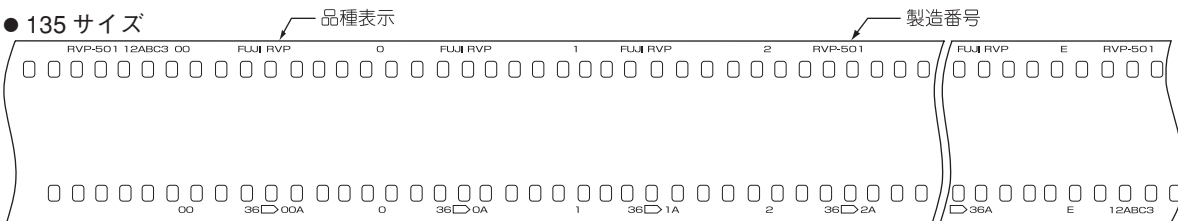
乳剤タイプ及びフィルム面の識別のため、シートフィルムにはコードノッチが刻まれています。コードノッチが右上すみになるようにして持つと感光面（乳剤面）が手前になります。また、クイックロードやクイックチェンジも同じコードノッチです。



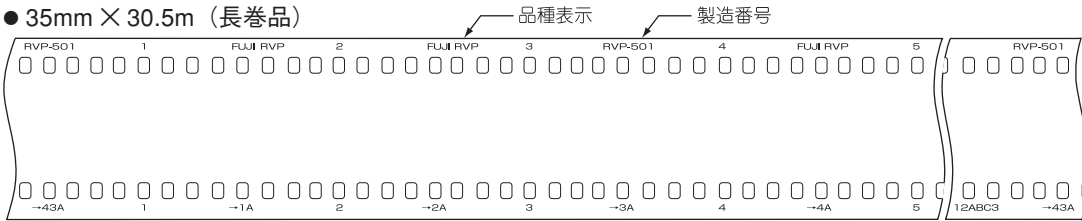
14. 現像処理後のサイドプリント

<ロールフィルム>

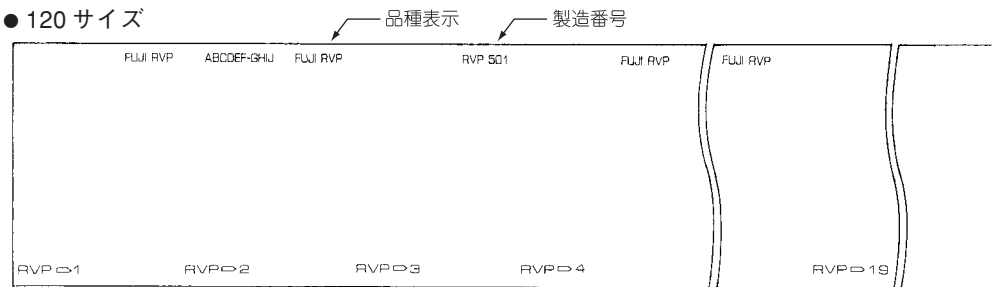
● 135 サイズ



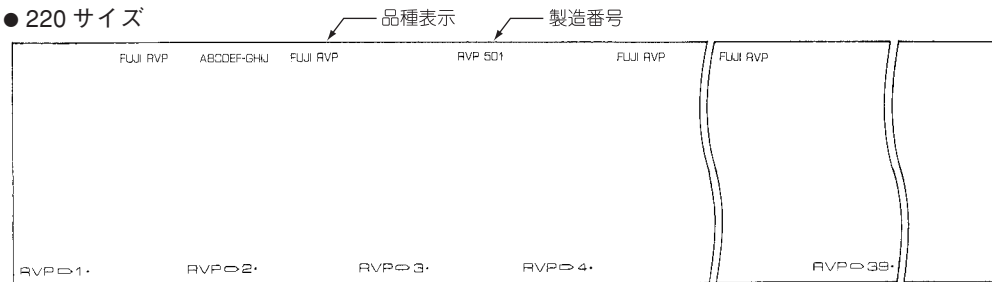
● 35mm × 30.5m (長巻品)



● 120 サイズ

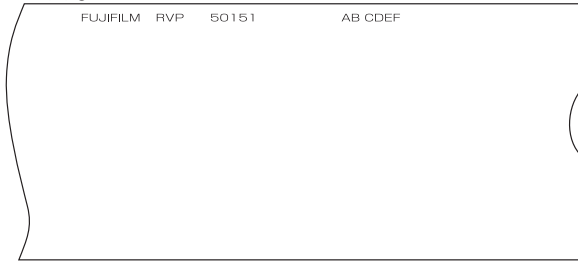


● 220 サイズ

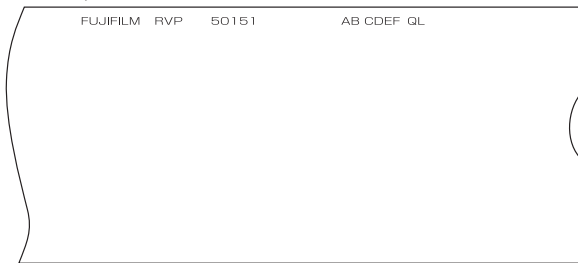


<シートフィルム>

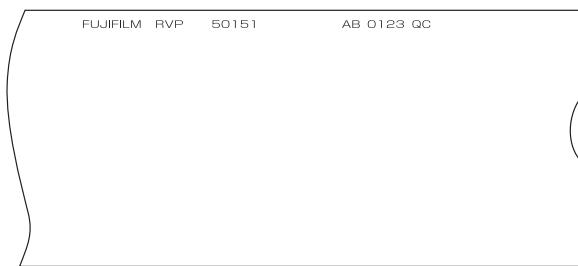
● 4×5 in



● クイックロード

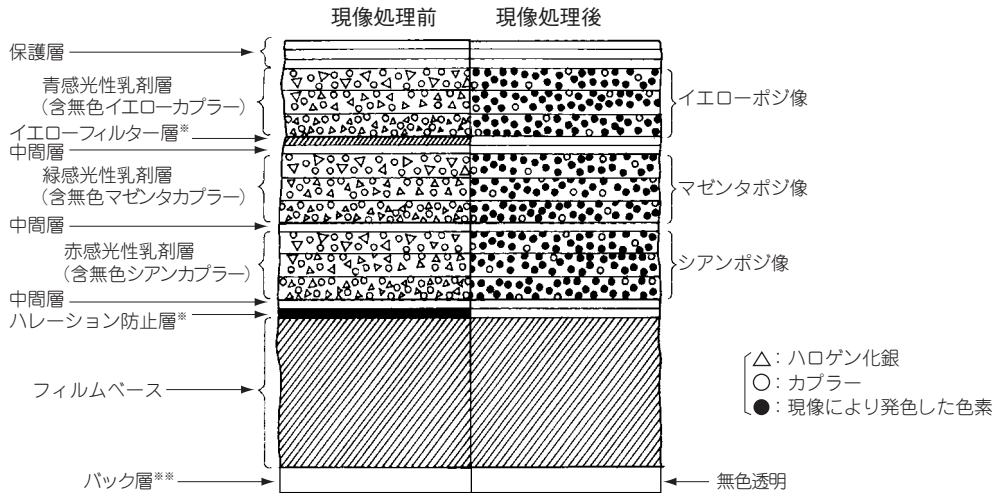


● クイックチェンジ



※感光面はすべて裏側になります。

15. 層構成



※現像処理後、無色透明となります。 ※※ 135 サイズには塗布されていません。

16. 拡散 RMS 粒状度

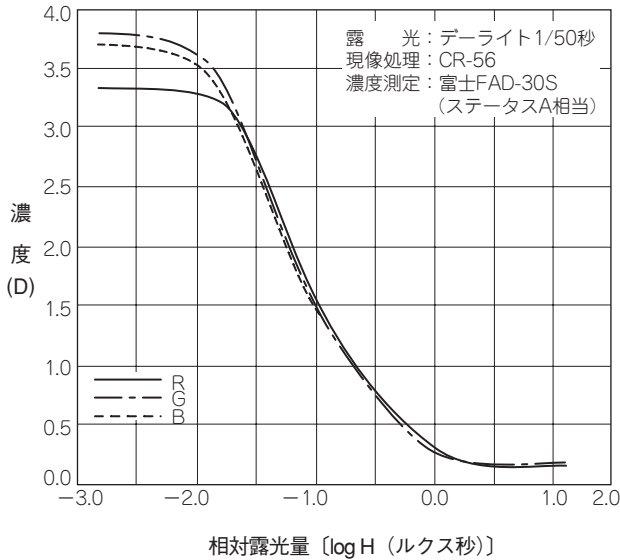
.....9

17. 解像力

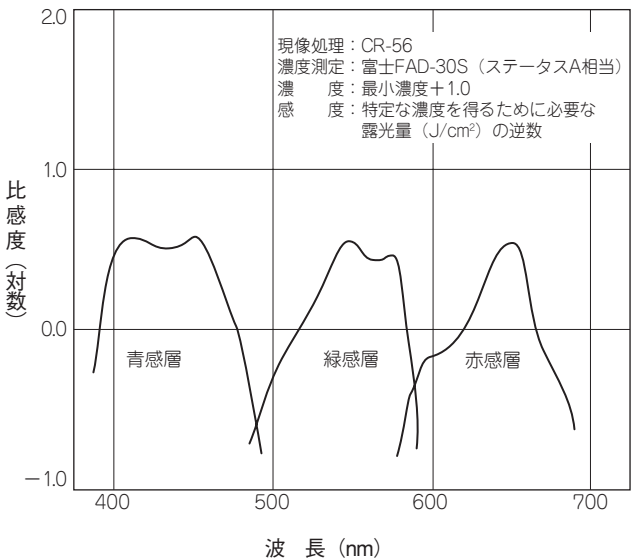
ミクロ濃度計の測定アパーチャー: 48 μmφ
試料の濃度: 最小濃度 + 1.0

チャートのコントラスト 1.6 : 1 80 本/mm
チャートのコントラスト 1000 : 1 160 本/mm

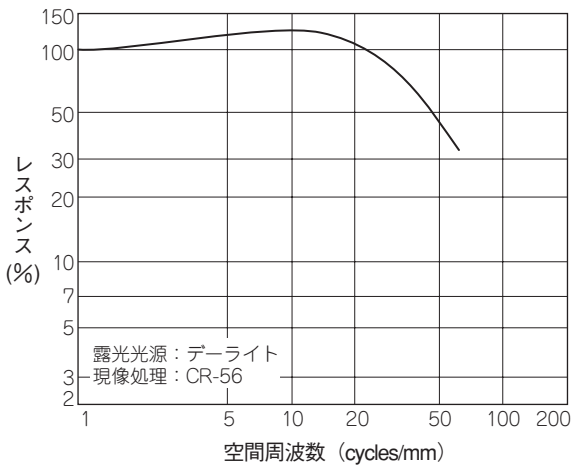
18. 特性曲線



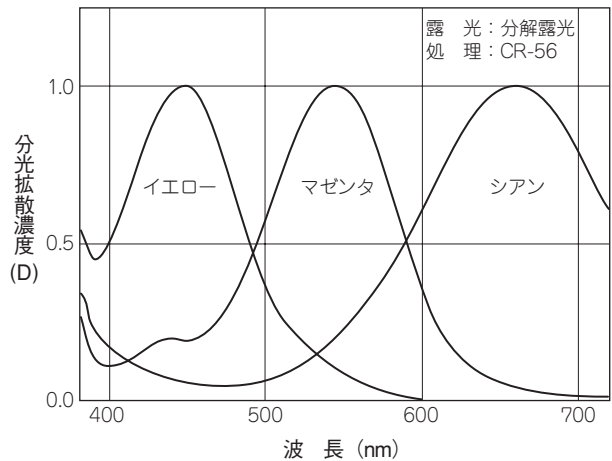
19. 分光感度曲線



20. MTF 曲線



21. 色素の分光濃度曲線



注 このデータシートに記載されているデータ類は、当社で通常実施している試験による結果を表示するものです。当社は製品の性能を常にグレードアップしようとしていますので、製品の改良によって、これらの特性は予告なく変更されることがあります。



富士写真フイルム株式会社

プロフェッショナル写真部

東京本社 / 〒106-8620	東京都港区西麻布 2-26-30	TEL 東京 (03)3406-2094
大阪支社 / 〒541-0051	大阪市中央区備後町 3-5-11	TEL 大阪 (06)6205-6470
札幌営業所 / 〒060-0002	札幌市中央区北 2 条西 4-2 札幌三井ビル別館 3F	TEL 札幌 (011)241-7164
仙台営業所 / 〒980-0811	仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービル 7F	TEL 仙台 (022)265-2121
名古屋営業所 / 〒460-0008	名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル 11F	TEL 名古屋 (052)203-5261
広島営業所 / 〒732-0816	広島市南区比治山本町 16-35 広島産業文化センター 11F	TEL 広島 (082)256-3311
福岡営業所 / 〒812-0018	福岡市博多区住吉 3-1-1	TEL 福岡 (092)281-0231